Kobe University Repository : Kernel

PDF issue: 2025-07-06

阪神・淡路大震災をのこす

佐々木, 和子

(Citation)
歴史文化をめぐる地域連携協議会予稿集,18:14-15

(Issue Date)
2020-02-02

(Resource Type)
conference object

(Version)
Version of Record

(URL)
https://hdl.handle.net/20.500.14094/81012138

阪神・淡路大震災をのこす

神戸大学地域連携推進室
佐々木和子

1，阪神・淡路大震災と資料保存

◇歴史資料保全情報ネットワーク（史料ネット）　ボランティア元年

→　被災史料の救出　　事務局：尼崎神戸大人文学研究科

→　**災害（震災）資料の保存**　＝　同時代史の資料保存　…　意識的に収集・保存
＝わが国初

1995 年 3 月　震災・活動記録室の誕生
5 月　神戸大学附属図書館　阪神・淡路大震災関係資料を網羅的に収集
6 月　兵庫県復興計画

→　財）21 世紀ひようご創造協会（兵庫県外郭団体）の取り組みに協力
第 1 回震災資料の保存と編さんに関する研究会　1996 年 2 月 23 日
第 2 回震災資料の保存と編さんに関する研究会　1996 年 10 月 13 日

⇩

震災資料嘱託員による収集・保存活動へ（1996 年 12 月）

◇何を残すか

・「震災・復興に関する資料・記録」　＝　「震災資料」へ

・一次資料から収集　－　分析・加工されていない資料

＝　現代史の資料（出来事と同時に収集・保存）

①　財）21 世紀ひようご創造協会：1995 年 10 月～

・内容：

1、今回の地震の実態　2、地震被害の実態　3、地震への対応の実態

4、被災者の生活実態　5、復興計画・事業の経過などを示す資料・記録類

・形態の多様性

ビラ・ちらし、図書、一般刊行物、冊子、壁新聞、CD－ROM

写真、ビデオ、その他　←　情報媒体の多様化

②**岩崎信彦氏**（当時　神戸大学文学部教授・社会学）の指摘：**1996 年 2 月**

①その地区で人々がどのように死んでいったか　　**被災状況の把握**

住宅被害・火災状況・死亡者についての行政や建築学会などの調査資料

②避難、救援、救助はどのようであったのか　**緊急対応**

住民の手記、ボランティアや避難所の記録

③仮設住宅街での人々の生活についての総合的把握　**応急対応**

③＋ライフライン、鉄道、幹線道路等　**復旧**

④住宅や生活再建、復興まちづくりについての調査　**復旧・復興**

⑤震災直後の写真、ビデオ、インタビュー調査

③兵庫県による震災資料調査事業　：2000 年 6 月

調査先・作成者キーワード

個人（1 被災地の個人、2 被災地外の個人、復興公営、避難所、仮設住宅は除く）／**復興公営住宅**（3 居住者、4 自治会、5 その他）／**ボランティア・支援団体・宗教団体等**（6 ボランティア・支援団体、7 宗教団体、8 その他）／**まちづくり協議会・コミュニティ組織**（9 まちづくり協議会、10 住宅再建組合等、11 自治会・町内会等、12 その他）／**事業所（企業）**（13 交通機関、14 ガス・電気・電話、15 その他）／**労働組合・任意団体**（16 労働組合、17 任意団体）／**教育・研究機関**（保育所を含む、18 保育所・幼稚園、19 小・中学校、20 高等学校、21 大学（研究者を含む）、22 その他）／**マスメディア**（23 新聞社、24 出版社、25 放送関係、26 その他（映画など））／**行政・外郭団体**（27 保健・環境・福祉、28 住宅関連、29 道路、水道等、30 その他）／**避難所**（31 避難者、32 施設管理者、33 避難所自治会、34 その他）／**仮設住宅**（35 居住者、36 仮設自治会・ふれあいセンター等、37 その他）／その他

←　嘱託専門員＋　阪神淡路大震災記念協会内部の研究会での議論

・1996 年以来の震災資料収集事業の視点

被災者・所蔵者の意識　＝“まだ”への対応　…　**「調査事業」**へ

・避難所→仮設住宅→復興公営住宅以外の被災者の視点

・資料利用側の立場から調査対象を検討

◇今後の課題

・現代資料の保存　―　大量にある資料の整理方法

・デジタルアーカイブと現物資料

・記録に残らない出来事の継承　―　人々の記憶